



第94号

# プラスチック 中部

平成24年6月14日  
www.chubu-pla.or.jp

社団法人  
中部日本プラスチック製品工業協会  
愛知県プラスチック成形工業組合  
〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号  
(名古屋市工業研究所管理棟4階)  
電話(052)654-8155 FAX(052)654-8140  
E-mail: info@chubu-pla.or.jp

## 組合理事長に鈴木啓之氏が就任

協会・組合が通常総会を開催

### 優秀従業員表彰式、講演会も実施



挨拶する鈴木新理事長

協会及び組合では、5月23日午後から名古屋国際ホテルを会場に通常総会を開催。上程議案はいずれも異議なく承認された。役員改選では別掲(6～7頁)のように新役員が決まり、組合理事長に新しく鈴木化学工業所の鈴木啓之氏が就任した。鈴木新理事長は新任の挨拶で、事業の中でも主となる「人材育成事業」に必死に取り組んでいきたいと方針を述べた。一方協会会長には、後藤会長が再選された。総会後は、『第7回優秀従業員表彰式』が挙行され、事業所から推薦された7名が表彰を受けた。(関連記事2～3頁)

表彰式後の講演会では、講師に北見式賃金研究所所長北見昌朗氏を迎え、テーマ「古地図を手に語る明治名古屋商人の活躍」を聴講した。要旨別掲(4頁)。また、講演会終了後引き続き会場を移動して懇親会が行われ、後藤会長の開会挨拶に次いで、名古屋市工業研究所濱田所長の乾杯の音頭で懇親に移った。

組合の第48回通常総会では、各議案いずれも原案通り承認された。議案審議に先立ち挨拶に立った児玉理事長は、昨年の事業活動はほぼ予定通り消化できたとし、また人材育成の一例として、自社で受け入れているベトナムの技能実

習生の明確な目標と希望を持って、仕事に望む姿勢を日本人も学ぶべきところがある旨紹介した。一方景気動向について、去年は円高の影響、復興需要の停滞もあって回復が遅れた。今年に入っても引き続き円高の影響は大きく、さらにこの先不安定な電力供給、原材料高の再来など懸念材料もあるが、やはり「元気」が一番なので、今各社が持っている技術、品質をさらに磨いて『メイドイン ジャパン』の復権に取り組んで行きたい。最後に、引き続き人材育成事業では、射出成形1・2級の実技試験実施、学科講習会、技能者育成講座など積極参加を促し、全員の奮闘と努力を祈りたいと述べた。

次いで開催された協会の第41回総会においても、提出議案は全て原案通り異議なく承認された。挨拶を行った後藤会長は、前年度は震災の痛手から平常心に向かいつつある中、タイの洪水が発生し国内だけに留まらない災害を受けた年であった。今年前半は、大きな災害も無く一時は円安にブレ、業界全体が一息つけた感じでもあった。夏に入ると、国内の電気事情、国内産業の空洞化への懸念、国際競争力の低下などが予測されるが、団結することで夏以降の逆境も乗り越えると信じている。また、活動に当たって業界全体のイノベーションとその運用、省エネルギー推進技術それに伴う制度融資の拡大を図ることが、必要不可欠と認識している一と締めくくられた。

## 『第7回優秀従業員表彰式』挙行 7名が受賞、更なる飛躍誓う

総会終了後は、『第7回優秀従業員表彰式』が行われた。今回は4事業所から合計7名の皆さんが表彰されたが、奇しくもブロー成形を行う事業所で独占された格好になった。昨今、射出成形は隆盛で、技能検定でも900名を超える受験者がある事に比べ、ブローの検定は受験者数減により隔年開催となる時勢の中、



表彰された皆さん 似顔絵、似てますか？

事業所内では脈々と技術伝承されている様である。

なお、表彰式では後藤会長はじめ、来賓の中部経済産業局産業部竹村担当次長、愛知県産業労働部産業振興課丹羽課長両氏からお祝いの言葉が贈られ、後藤会長から表彰

状と副賞（商品券3万円分）が手渡された。



**株式会社大喜プラスチック工業所 製造部成形G 勤続26年 森嶋郷雄(モリシマ クニオ)**

元々は繊維関係の工場出身ですが、この会社に移ってから26年間、仲間のみんなに支えられて勤めてくる事ができました。只々感謝です。

職場の基本は“社長以下チームワークができていいる事”が一番だと思っていますから、今の立場は囑託の様なものですが、みんなと色々な事を話し合いながら仕事を進め、自分の経験を少しでも伝える事が恩返しだと思っています。今回の受賞は何と云っても永年支えてくれた妻のおかげですから、副賞で何か喜ぶものを買ってあげたいと思います。



**株式会社大喜プラスチック工業所 製造部品質管理G 勤続26年 梅田元子(ウメダ モトコ)**

私は気仙沼出身なので、今回の受賞は震災で亡くなった家族にまずは報告したいと思います。

今回表彰していただいたのも、一にも二にも仕事が好きで、自分の生きがいとして取り組んできた事が認めていただけたのかと感謝してますし、職場の皆さんの温かい気持ちがあってこそだと思っています。今日も、みんなが仕事をしていると思うと申し訳ないと思いつつ、表彰式に向かいました。

副賞では勤続25年の記念になるものを買いたいと思います。



**株式会社タイセイプラス 加工・検査 勤続13年 太夫本幸江(タユモト サチエ)**

私は入社してまだ13年程なのですが、製造、加工、検査と一通りの仕事を体験させてもらって、一貫したラインで製造工程を見る事ができるのが受賞させていただいた理由でしょうか。

今回一緒に受賞した正田さんは、私より若いけれど仕事では頼れる先輩で「あねさん」と呼ばせてもらってます。

今後は私も後輩達に頼られる様に器の大きな人にならないといけないのですが、「このご時世だから副賞は貯蓄に回そう…」なんて考えてる様じゃまだまだですか？



**株式会社タイセイプラス 加工・検査 勤続16年 疋田友美 (ヒキタ トモミ)**

16年間“休まず”“不良を出さず”をモットーにやって来たのですが、こうして表彰していただけたという事は「自分、がんばったかな」と、内心ガッツポーズです。

勤務時間中は勿論真剣ですが、休憩時間になると太夫本さんをはじめ、職場の仲間たちと他愛も無い話やガールズトークでリフレッシュしています。

副賞の使い道?……そうですねえ、パーツと洋服でも買っちゃいますか! だって、リフレッシュは大切でしょ?



**ゴトプラスチック株式会社 RDセクション グループリーダー 勤続19年 田村浩司(タムラ コウジ)**

自分は開発という部署で、まだどこにも無い新工法や生産技術を生み出すのが仕事なので、正直、上手くいかない事もありますが、常に心がけている事は「出来ない、と言わない」事です。

今回、一緒に表彰された鶴飼君は高校の同級生で、彼をこの会社に引き込んだのも自分ですし、部署も一緒になった上、趣味のゴルフでもつるんでいる仲なので、一体どこまで一緒になるんだろうと思っています。

副賞は、勿論ゴルフ道具に化けると思います。



**ゴトプラスチック株式会社 RDセクション セクションリーダー 勤続11年 鶴飼淳一(ウカイ ジュンイチ)**

表彰は個人宛なのですが、自分が何かをしたと言うよりは、会社の為にどうしたら良いかという事を、田村君たちと一緒にやってきただけです。

私は生産現場や営業的な事も勉強させてもらいながら田村君は技術的にすごく深いものを持っている……お互い自分に無いものを持っている存在がプラスになっていますが、共通しているのは“あきらめない”事ですね。

副賞はゴルフ道具……と、言いたいところですが、誕生日が近いので奥さんへのプレゼントになると思います。



**株式会社ティエスケイ 製造長 勤続15年 出口克己(デグチ カツミ)**

受賞の喜びを一番に伝えたいのは社長です。自分は製造部門の責任者として抜擢されたのですが、現場のリーダーとして常に一番前に立ち、背中をみんなを引っ張って行く事を目標としています。それは社長の姿勢から学んだ事ですが、社長は小柄なのに、現場で従業員の先頭に立った時は背中が本当に大きく頼もしく見えるのです。

現場では年上の方々からいただくフォローも勉強の糧にしながら、今は社長の言う事、考えている事にいかに早く近づけるかと毎日がんばっています。

副賞は、母の日には遅れましたが血压計を買ってあげたいと思います。

## 豊田佐吉公が何と言っても傑出

北見昌朗氏を講師に招聘

### 名古屋商人の活躍を語る

中部地区のモノづくりのルーツは、木製・木曾のヒノキがルーツである。新幹線、零戦もそうであった。すべてのことが歴史を遡ることで明らかにされる。

北見講師は、桶狭間の戦いの進行ルートなど海拔マップを、また代表的な名古屋商人の人脈や商いについて、専門マップを張り出して説明した。

明治42年に鶴舞で博覧会が開かれ、それが名古屋の大きく変わる契機となった。その博覧会・第10回関西府県連合共進会は、全国の府県が産業を紹介するもので、今で言う地方博覧会である。この鶴舞公園で行われた共進会は名古屋開府300年を記念して開催された。

名古屋商人で傑出しているのは何と言っても豊田佐吉公である。(トヨタ自動車創業者豊田喜一郎の父) 創業の地は朝日町現在の中区錦3丁目、慶応3年生まれ。明治27年に名古屋へ出てきて自動織機の開発に取り組んだ。全国一躍時の人に。後押しする三井物産と製販の論点で結局折り合いが付かず、単身アメリカへ渡る。

帰国し大正元年、45歳で栄生の3000坪の土地を確保し工場を建設、大成功を遂げる。東区清水口に邸宅を建てる。話は喜一郎氏へ。

佐吉公の支援者のひとり服部兼三郎氏(糸重で丁稚)は、繊維を営む服部商店を…その店に丁稚奉公していた石田退三(元トヨタ自動車社長) 語録。2人の呑む席に同席していたのが、三井銀行名古屋支店長の矢田堰(せき)。後、自殺に追い込まれた服部氏。再建したのが三輪常次郎で「興和」である。

次いで松坂屋(伊藤次郎左右衛門)。松坂屋は、木造3階建てで200数十年にわたり呉服問屋として栄える。岡谷鋼機(岡谷總助)…岡谷鋼機は、明治の初めに七宝焼きに取り組んだ。当時の輸出品としては稀で、チャレンジャーであった。



講師の北見昌朗氏

日本車両製造の奥田正香、製造業は木材産業が基礎。その木材に使う金具こそが製造業の元(原点)。後に新幹線、飛行機にまで発展した。

瀧兵〜分家した瀧定。福沢諭吉の娘婿の福沢百助、電気の源「水力発電所」を建設。名古屋電燈〜大同特殊鋼を設立。

大隈鐵工所は製麵機でスタート。日露戦争で、工作機械の製造へ。敷島製パンの盛田善平は、名古屋初のピヤホールを共進会に合わせて作った。

「遊郭」は大門? 巨大な遊郭は大須・花園町である。中村大門へは大正時代に移転。

料亭「河文」…重要な会議は料亭で行われた。派閥で利用先が決まっていた。銀行も同様であった。

続く会社とそうでない会社…基本的には『会社は続かない』、幕末の大混乱期、昭和20年の大混乱期を乗り越えて残っているのが、今の企業。

残る企業の条件とは、①挑戦している、創造的。俺の会社!ではなく、お預かりしている感覚である。②現物資産へのこだわり。土地、金…

※生き残った商圈は、御上を信じてない!自分の城は自分で守る。最有力は土地。

※最後は現物資産を持っているのが勝つ〜歴史は繰り返す。

名古屋商人の活躍を紹介し、最後にこう締めくくられた。



## 再任のご挨拶

会長 後藤 敏一郎

この度、通常総会において、中部日本プラスチック製品工業協会会長に再任されました。

会員各位並びに関係官庁、団体の皆様にも今後よろしくお願い擦る次第です。

当協会は本年で55周年を迎えます。歴史ある当会の運営を委ねられ、その責務に痛感しているところであります。現在愛知県、岐阜、富山、石川、三重県において当事業を行っている賛助会員を含め、業界の振興に関する活動、情報提供などを行っています。

先ほど申し上げましたように、55周年事業として10月2日から4日までポートメッセなごやにて名古屋プラスチック工業展を開催予定であります。名古屋飛ばしがないように魅力ある工業展を計画しております。是非とも会員、関係各位の参加はもとより、プラスチックの必要性を一般の皆様にも理解して頂ける催しを計画いたします。その他功労者の表彰事業、会員会社社員との交流会、復興支援活動等も計画しております。

昨年3月発生した震災で日本中が閉塞感に陥っております。政治においても我々業界においても益々アゲンストの風が吹いております。今後は本当に日本で生産活動ができるか？会社が維持できるか？雇用が確保できるか？中小企業にとっては産業構造の変化に対応できるか？など大きな地殻変動が起こります。その対応策として国内での各社の得意分野の掘り起し、海外への事業展開の支援活動など業界として支援できることを迅速に対応していきます。

今後とも活動できる協会運営を心がけ全員参加での意見交換を目指しております。

最後に、会員の皆様のなご一層のご指導、ご鞭撻をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 就任のご挨拶

理事長 鈴木 啓之

この度、第48回通常総会で愛知県プラスチック成形工業組合の理事長に選任されました。

児玉理事長の後、私のような者に大役が務まるのかと大変不安を感じていますが、組合員各位はじめ、関係各位のご指導ご協力のもと、全力で組合事業活動を進めてまいります。

景気については、昨年東日本大震災にはじまり、福島原発事故・超円高・タイの洪水と大変厳しい1年でした。しかし昨年をあらわす漢字が“絆”といわれるように、改めて日本人の心・思いやりを熱く感じた1年でした。

今年に入って震災復興需要もあり急回復してきていますが、エコカー補助金の打ち切り、ヨーロッパの金融不安等々、この先大変厳しい状況になると予想されます。

こんな中で、プラスチックによるもの造りを維持していく為には、人材育成を徹底して行う必要があります。(人材→人材へ変える) 組合では主な事業として、技能検定(射出成形・ブロー成形)事業の受託推進・技術講習会・学科講習会を行っています。

また、好評を得ています射出成形現象の可視化DVD研修、(財)名古屋産業振興公社共同事業「中小企業技能士育成講座」の実施を予定しています。

最後になりますが、関係各位・組合員皆様方のご支援・ご協力を心からお願いし、また皆様とご家族のご健勝とご多幸を祈念して、就任のご挨拶といたします。

(社)中部日本プラスチック製品工業協会

平成24年度 新役員

- ▽会 長 = 後藤 鉦一郎 (タイセイプラス)
- ▽副 会 長 = 大松 利幸 (岐阜プラスチック工業)  
 児玉 康彦 (三扇化学)  
 横山真喜男 (東洋理工)  
 磯野 正幸 (星和化成)
- ▽専務理事 = 葛谷 喜信 (事務局)
- ▽理 事 = 尾崎 浩一 (オプロコ)  
 立木 繁 (則武化学)  
 後藤 壽夫 (ゴトープラスチック)  
 石原 富祥 (東海プラスチック工業)  
 後藤 敏公 (みづほ合成工業所)  
 尾原 成夫 (オハラ樹脂工業)  
 瀬川 憲 (瀬川化学工業)  
 伊勢村昌吾 (千代田合成)  
 神谷 昭司 (三琇プレシジョン)  
 服部 和彦 (和泉化成)  
 宇佐美教之 (ウサミ化成)  
 前田 真 (山勝工業)  
 高橋 眞一 (東洋化学)  
 鈴木 啓之 (鈴木化学工業所)  
 櫛田 安良 (宝永プラスチックス)  
 塩谷 國明 (スター精機)  
 酒井 友樹 (山宗)  
 柘植 崇 (笠置産業)
- ▽監 事 = 粕加屋幸三 (東郷製作所)  
 加藤 正彦 (三洋製作所)



後藤 鉦一郎



大松 利幸



児玉 康彦



横山真喜男



磯野 正幸



尾崎 浩一



立木 繁



後藤 壽夫



石原 富祥



後藤 敏公



尾原 成夫



瀬川 憲



伊勢村昌吾



神谷 昭司



服部 和彦



宇佐美教之



前田 真



高橋 眞一



櫛田 安良



塩谷 國明



酒井 友樹



柘植 崇



粕加屋幸三



加藤 正彦

射出成形を  
トータルサポート

**NISSEI** 射出成形機・金型・複合材料・成形支援システム  
**日精樹脂工業株式会社**  
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■東海営業所 / 〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 TEL(0568)75-9555(代)  
 ■岡崎出張所 / TEL(0564)52-1430  
 ■本社・工場 / 〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

**MATSUI**  
 in search of rapport

株式会社 松井製作所

名古屋営業所 〒457-0831 名古屋南区荒浜町5-8  
 tel:052-614-2601(代) fax:052-614-2626

●本 社 tel:06-6942-9555(代) ●東京本社 tel:03-5992-3191(代)

<http://www.matsui-mfg.co.jp/>

# 愛知県プラスチック成形工業組合

## 平成24年度 新役員

- ▽理事長 = 鈴木 啓之 (鈴木化学工業所)
- ▽副理事長 = 原田 一雄 (三和ライト工業所)
- 福岡 正喜 (名豊化成)
- 井上 登永 (大喜プラスチック工業所)
- 中村 公彦 (大京化学)
- ▽専務理事 = 葛谷 喜信 (事務局)
- ▽理事 = 伊藤 義信 (伊藤プラスチック研究所)
- 後藤 壽夫 (ゴトープラスチック)
- 稲熊一二三 (笠寺プラスチック工業)
- 若山 嘉延 (藤和ライト工業)
- 青山 松夫 (兼弥産業)
- 日高 淳 (日多加テクノサービス)
- 足立 和己 (足立ライト工業所)
- 江口 泰彰 (大成化工)
- 児玉 康彦 (三扇化学)
- 後藤 鋤一郎 (タイセイプラス)
- 原田 正道 (中部エクストロン)
- 大塚 幸夫 (名古屋燐寸)
- 花井 敏真 (花井化成)
- 杉山 修平 (スギヤマプラスチック)
- 川西 正克 (川西塗装)
- ▽監事 = 伊勢村昌吾 (千代田合成)
- 小森 隆幸 (カネコ産業)



鈴木 啓之



原田 一雄



福岡 正喜



井上 登永



中村 公彦



葛谷 喜信



伊藤 義信



稲熊一二三



若山 嘉延



青山 松夫



日高 淳



江口 泰彰



原田 正道



大塚 幸夫



花井 敏真



杉山 修平



川西 正克



小森 隆幸

TOYO  
**CSいちばん宣言!**  
Customer Satisfaction ICHIBAN

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機 / 金型  
<http://www.toyo-mm.co.jp>  
中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市名東区社が丘1-1202  
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

射出成形機とホットプレス機の製造・販売

射出機の「<sup>いま</sup>現在」を創り、  
「<sup>これから</sup>未来」を変えていく。

 株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2  
TEL (0562)47-2391(代) FAX(0562)47-2395  
<http://www.meiki-ss.co.jp>

## 新会長に齋藤氏(日本)就任

### 連合会第51回通常総会

全日本プラスチック製品工業連合会第51回通常総会が6月7日午後3時30分から、大阪市梅田のヒルトン大阪で開催され、30名が出席した。中部から、理事、総会代表、事務局など合わせて11名が出席した。

初めに五十嵐会長から挨拶があり、厳しい経済環境のなか2年間の会長職を全う出来たことに対し感謝の意が述べられた。

続いて議事に入り、上程議案全てが原案通り可決承認された。最後に役員改選があり、新会長に東日本の齋藤森作氏が就任した。副会長には大野泰昭氏(東日本会長)、加藤豊氏(神奈川県会長)、奥野拓司氏(西日本会長)、後藤鉦一郎氏(中部日本会長)がそれぞれ就任した。

引き続き懇親会が開催され、冒頭齋藤新会長は就任挨拶なかで会員企業の皆様のお役に立てる活動を可能な限り努めたいと述べた。

加藤副会長の乾杯で始まり、和やかに歓談が進むなか、後藤副会長の中締めで閉宴となった。



第51回通常総会

## 〈齋藤新会長就任挨拶要約〉



挨拶する齋藤新会長

日本のものづくり全体が、大変大きな岐路に立たされています。

今の経済状況は、世界経済の低迷(欧州債務問題、米国の雇用統計の下回り、

中国やインドの成長減速等)で円高株安が再び進行しています。豊田自工会会長の会見では、「この超円高が続けば日本の製造業は崩壊する。理屈でいえば日本でのものづくりを続ける事は有り得ない」と強調、「儲かれば良いとの考えで100万台を海外に移管したら20万人の雇用が失われる」と危機感を表明しています。

我々業界でも、次のような事態、深刻な問題が表面化することが予測されます。▽グローバル経済で空洞化が進み、下請企業の選択と集中が急加速▽原材料価格の変動や価格差の不透明化により顧客対応で各社間に温度差が生じる問題▽電力の安定確保と大幅な値上げによる収益への圧迫▽不当な値引き・支払い遅延・協賛金の要請▽中小企業金融円滑化法の打ち切りと信用保証協会による中小企業向け保証制度の縮小、▽震災によるサプライチェーン寸断の経験からリスク分散のため2社購買へのシフトが加速。これら諸問題を経産省はじめ関係機関に粘り強く交渉していくことが急務と考えています。

来年は、連合会の創立50周年の節目を迎え、記念事業を実施する予定で、その一つとして海外研修も考えています。

これから2年間、会長という大役を担うことになりました。連合会として会員企業の皆様のお役に立てる活動をできるように努めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

 **陸物産株式会社**

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号  
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡



# アセアンの現状把握

## 海外進出支援セミナー

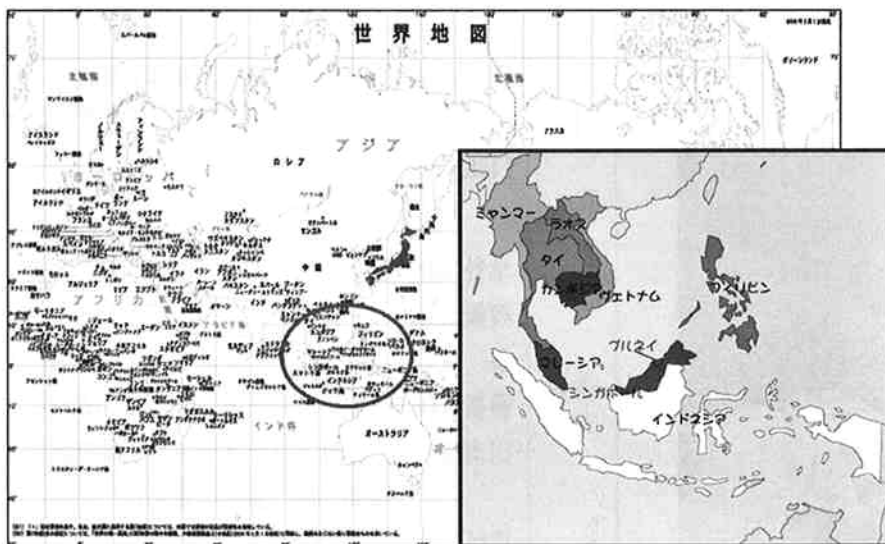
4月18日午後1時より名古屋市工業研究所で開催され、20名が参加した。

冒頭後藤会長より、日本は厳しい経済環境が続いている。特に円高で輸出産業に大きな影響が出ている。この状態が続くと製造業（メーカー）は大半現地（海外）での生産に切り替えざるをえなくなり、日本の空洞化がますます進行する。我々中小企業も海外で仕事をするを考える、そんな時期が来たのかもしれない。

当協会も会員事業所が海外進出にあたって何かお手伝いが出来ないかと考えており、まずは情報収集から始めようと今回のセミナーを開催する主旨が述べられた。

今回は、(株)フォーバル海外事業グループゼネラルマネージャー広幡勝典氏を講師に迎え、ア

### ■ アセアン（東南アジア諸国連合）



セアン（東南アジア諸国連合）の国々について説明を受けた。

アセアンの良い点は、日本から近い。6億人余の人口があり、EU（5億人）より多く、日本の6倍である。対日感情も良く、仏教国である。日本がODAを一番多く行っており、経済成長を根底から支えてきた。人材資源も豊富で若者が多く、労働者人口が多い。子供も多く生まれ、人口増加が著しく、人口ピラミッドも三角形である。ワーカーも勤勉、真面目、手先が器用である。貧困層から急速に中間層が増えている。世界から支援名目で資金が流入し、インフラが急ピッチで整備されている。中国、インドにもアクセスしやすい等の特徴が挙げられた。

次に各国のGDP、面積、人口、経済成長率など概要が説明された。

最後に海外進出にあたって成功するための10原則が指摘された。

- (1)明確なビジョンを持っている。
- (2)オーナー及びそれに準ずる人材が現地を調査する。
- (3)現地に信頼できるパートナーがいる。(人脈創りに積極的)
- (4)企業全体の経営計画（未来計画）が描けている。
- (5)オーナー及びそれに準ずる人材を登用している。
- (6)「自社の強み」を見出し、活かしている。
- (7)身の丈から始めて、大きく育てている。
- (8)とにかく元気！⇒信頼できるNo.2がいる。
- (9)ワーカーとのコミュニケーションが取れている。(教育・組織創り)
- (10)自社の成長が進出国の成長と捉えている。

この他に、優秀な通訳と税理士を採用し、その費用を渋ってはいけなと追加された。

次回は、既に進出している企業の情報を発信する予定である。

# ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012  
TEL(052)931-1211(代)  
FAX(052)930-1975